

## ✧ 海外ニュース ✧

ドイツ 2024年12月2日 elEconomista

■ ロスチャイルドは、スペインの複数の道路運営会社に対して、ドイツの高速道路 A-1 を購入する提案を行った  
Rothschild ofrece a las concesionarias españolas la compra de la autopista A-1 de Alemania

ドイツの高速道路 A-1 は、現在欧州に存在する数少ないインフラ入札事案の一例である。同高速道路はハンブルクとブレーメンを結ぶ区間に相当し、その所有者たちは道路運営会社の売却を先導するために、ロスチャイルドを財政顧問として採用した。この高速道路は、長さ 75 km で 6 車線を有する。ロスチャイルドは、スペインの道路運営会社であるアベルティス、グローバルビア、ローデイスに資産を提供する提案を行っている。しかしこれらのスペインの会社はドイツには拠点がなく、すぐに成長の効果を見せることは期待できないと言われている。

英国 2024年12月4日 Highways News

■ ウィルトシャー州議会の追加道路投資で国内の数百の道路標識を交換

Wiltshire Council's extra highways investment sees hundreds of road signs replaced across the county

ウィルトシャー州の道路改善に対する 2,200 万ポンドの追加投資の一環として、同州議会は国内で 1,000 近くの新規道路標識・ポストを設置、交換した。960 の新規標識の約 80% は昨年すでに設置されており、残り 20% は今後数カ月で交換される。新規標識は単一ポスト警告、規制看板から大きなマップ型予告標識まで多岐にわたる。旧標識がアルミニウムシートでできていたのに対し、新規標識は複合基板でできているため、より環境に優しくなっており、スクラップ価値がないため窃盗されにくくなっている。使用済みポストとともに、交換された旧標識はすべて再利用されることとなる。

英国 2024年12月4日 Highwaysindustry.com

■ リフロー社：脱炭素化に向けた道路事業の準備は整っていますか？

Re-flow — Is your highways business ready for decarbonisation?

例えば、従来のアスファルトとは異なり、バイオビチューメンは石油製品や有害化学物質を使用せず、労働者にとってより安全であり、環境にも優しい。このようなロード・エキスポ 24 で提示されたイノベーションは、排出ガスを削減しつつ効率を向上させることを狙った数多くの取組みの一部である。これらのソリューションの多くはインフラ寿命を延ばし、投資利益率を最大化する最先端技術で経済的な利益ももたらす。ただしインフラの持続可能性は規制要件の順守にとどまるものではなく、新たな基準を設定し業界をより責任感のある将来を見据えた時代に導くものである。

オランダ 2024年12月5日 ADAC

■ オランダで高速道路通行料導入

Die Niederlande führen Autobahn-Maut ein

オランダではロッテルダムの西側に新しく開通した高速道路 A24 号線に初めて通行料金が導入される。同国には欧州でも珍しく全国的な通行料金徴収制度が存在しない。今回、初めて A24 号線で 1 回の通行につき 1.51 ユーロ（乗用車、キャンピングカーと自動二輪車）、9.13 ユーロ（トラック、バス他 3.5 トン超車両）の料金を導入した。支払いはデジタル通行料徴収システム「e-Tol」によって行われ、従来型の料金所は設置しない。これはフランスでも導入が進む「Free-Flow」と呼ばれるシステムで、車道上方のカメラが車両ナンバーを検出し、料金を請求する。支払いは通行後 72 時間以内にクレジットカードによるオンライン払い、または銀行口座からの自動引き落としができる。

英国 2024年12月9日 ITS International

■ テレント社が National Highways に対する WiFi 取引を獲得

Telent wins WiFi deal for National Highways

テレント社は National Highways 当局から企業広域ネットワークを運営、維持するよう任命されており、こ

れにより協業とデジタルセキュリティーが可能となる。National Highways の全スタッフへ Wi-Fi インフラを提供するのに加え、当局の企業ネットワークサービスは地域運営センター、サテライトオフィス、デポを含む 130 超の National Highways 拠点で運営システムを接続、支援する。これにより最大のネットワーク可用性で安全、堅牢、柔軟なネットワークが提供される。これは英国の高速道路や主要 A 道路で交通流を安全に保つ人々をつなげる上で重要となる。

フランス 2024 年 12 月 10 日 ADAC

### ■ フランスの高速道路通行料金：「Free-Flow」システムに切り替え

Maut in Frankreich : Autobahnen stellen auf Free-Flow um

フランスは従来型の料金所での高速料金徴収を順次廃止し、今後数年間かけてデジタル式の「Free-Flow」システムに切り替える。新システムでは通行車両を電子的にスキャンし、ナンバーを検出。ドライバーは通行後 72 時間以内にクレジットカードやキオスク等で通行料を支払う。このシステムは区間によって既に導入されており、2024 年 12 月 10 日からは A13 / A14 号線のパリ～カーン区間（約 230 km）がすべて新システムに切り替えられた。フランス政府は、新システム導入によって、これら 2 路線だけでも料金所待ち時間を年間 170 万時間減らすことができ、結果として消費燃料を年間 950 万リットル、CO<sub>2</sub> 排出を年間 3 万トン削減する効果が期待できるとしている。

米国 2024 年 12 月 11 日 Roads&Bridges

### ■ 新たなアリゾナ州間高速道路 11 号線の計画が前進

Plans for New Arizona Interstate 11 Moves Ahead

アリゾナ州ウィッケンバーグのインフラプロジェクトに対する新たな資金提供により、提案されている州間高速道路 11 号線の開発に道が開ける可能性がある。アリゾナ州議員キルステン・シネマ氏、マーク・ケリー氏によると、インフラ法案の 2,600 万ドルが国道 93 号線約 6 km 区間を 2 車線から 4 車線へ変更するため、ウィッケンバーグの町に割り当てられた。またケリー氏の声明によると、この投資は同地への大きな効果および 11 号線を介したフェニックス～ラスベガス間の接続へのさらなる進展をもたらし、これらの改善は交通量の削減、雇用創出、今後数年間の経済的機会増大の助けとなる。

オランダ 2024 年 12 月 13 日 ITS International

### ■ オランダ初のフリーフロー有料道路が開通

Netherlands' first Free-Flow toll road opens

新たな A24 号線/ブランケンブルク接続ルートにより、ローゼンブルフの A15 号線とフラールディングンの A20 号線がロッテルダムの港湾都市付近でつながる。2 本のトンネル、ホランドトンネルとマースデルタトンネルでは 1 日あたり 60,000 台の車両が見込まれている。これにはいくつかの大手 ITS 企業が関連している。エモヴィス社はシステムを設計、設置しており、これを維持することになり、ヴィア・ヴェルデ社は通行料を管理、徴収し（エー・トゥ・ビー社は同社のムーブビヨンド・バックオフィス・システムを提供し）、コンデュエント社は顧客相談センターを運営する。

フランス 2024 年 12 月 13 日 ITS International

### ■ エモヴィス社がモンブランのフリーフロー 10 年取引を獲得

Emovis wins 10-year Mont Blanc Free-Flow deal

モンブラン高速道路・トンネルは、アベルティス・モビリティ・サービスズ社の子会社であるエモヴィス社に発注された 10 年契約の下フリーフロー通行料徴収を実施することとなる。エモヴィス社はフランスの A40 号線の 58 km 区間をフリーフロー通行料徴収システムに変更するが、これは 2027 年春までに運用可能となる予定である。5 基の双方向料金所ガントリーがサランシュ～アンヌマス間のルート沿いに設置されることになる。エモヴィス社によると、人工知能アルゴリズムを活用することで自動的にガントリー下を通過する全車両を検知、分類、管理することが可能となる。

ドイツ 2024年12月17日 BMDV

### ■ AIによる高速道路上道路情報掲示板のデジタルツイン生成 (KISA)

KI-basierte Generierung eines digitalen Zwillings von Streckenbeeinflussungsanlagen auf Autobahnen - KISA

高速道路上の交通管制最適化のためには、道路情報掲示板の効果も含めた交通流シミュレーションが最も重要である。重要情報を網羅した精緻なシミュレーションを実現し、交通制御の精度を持続的に向上させるには、アルゴリズムの効率的マッピングが不可欠である。カールスルーエ工科大学 (KIT) 交通研究所では、2024年12月からデジタル交通省の助成による研究プロジェクト「AIによる高速道路上道路情報掲示板のデジタルツイン生成」(KISA) に取り組んでいる。KISA では、道路情報掲示板の交通データやスイッチングデータを AI に機械学習させ、制御アルゴリズムを再現することを目指す。このように生成されたデジタルツインによって非常に現実に近い交通流シミュレーションが可能となる。

英国 2024年12月19日 Highways Magazine

### ■ 最新のスマートモーターウェイ計画に全速力で前進

Full speed ahead on last smart motorway scheme

National Highways は昨年のスマートモーターウェイプログラムの取り消しをかりうじて免れた新全車線走行計画を完全公開している。2億6,000万ポンドの M6 ジャンクション 21a ~ 26 道路改善は、各車線の追加レーンが初めて運転者に利用可能となり、10月中旬から実施されていた 80 km の速度制限を解除し、12月19日に時速 113 km での運用に移行した。この移行は停止車両検出を含む技術の調整作業に従うものである。車道の改善区間は M62 号線 (クロフトのジャンクション 21a) と M58 号線 (オレルのジャンクション 26) のインターチェンジ間で 16 km にわたっている。

英国 2024年12月19日 Highways News

### ■ ウェスト・サセックス州議会が道路整備契約を発注

West Sussex County Council awards highways maintenance contracts

競争調達プロセスの後、ウェスト・サセックス州議会は州の道路資産管理政策・戦略に従い、道路網で整備・排水工事を行うべく2件の道路サービス契約を発注した。現行のサービス提供契約の成功が明らかであった一方で、金額に見合った価値、地元経済の成長、ネットワーク効率を推進するためこれらサービスの提供に対するアプローチを進化、改善する中でさまざまな代替オプションが検討されてきた。この調達プロセスの狙いは、変化する環境や資金援助プログラムに対応、適応するためローカル・ハイウェイ・オペレーションズ・チームと請負業者双方に柔軟性と敏しょう性の向上をもたらすことであった。

ドイツ 2024年12月21日 Spiegel

### ■ 建設業界、「交通崩壊」回避のため乗用車の通行料導入を要求

Bauindustrie fordert Pkw-Maut gegen Verkehrskollaps

ドイツ建設業中央連合会 (HDB) は、老朽化の著しい高速道路・連邦道路の改修工事費用捻出のため、乗用車を対象とした通行料の新規導入を求めた。HDB のミューラー代表理事は、この通行料から年間約 30 億ユーロの収入が見込めるとし、これを現在不足している工事費用に充てるべきだと主張。さもなければドイツは「交通崩壊」に陥る危険がある、と警鐘を鳴らした。この大胆な提案は、利用者負担増を避けたい連立与党各党から直ちに批判されたが、専門家らは乗用車通行料徴収を必要だとみている。ドイツ連邦環境庁によれば、この方策には交通量の減少、ひいては環境保護につながる等の効果がある。ドイツでは 2005 年以来、トラックのみを対象に高速道路・連邦道路の通行料が徴収されている。

デンマーク 2024年12月23日 ITS International

### ■ デンマークの通行料徴収変更が1月に施行

Danish tolling changes come into force in January

欧州のモビリティサービスプロバイダーである UTA エデンレッド社によると、同社の UTA ワンおよび

UTA ワンネクスト通行料徴収装置はデンマークの通行料徴収システムの変更へ対応可能である。2025年1月1日、同国は欧州規模のユーロピネットシステムを走行距離に基づく通行料徴収システムに変更した。他のユーロピネット加盟国（オランダ、ルクセンブルク、スウェーデン）においては現行の徴収ソリューションが継続される。新たなデンマークの通行料はCO<sub>2</sub>関税を含み、バスを除く12トン以上の車両に適用される。関税は車両重量、CO<sub>2</sub>排出クラス、通過した低排出ゾーンの数により変動する。

米国 2024年12月24日 Roads&Bridges

■ 高速道路：道路利用料金が2025年に平均0.92%引き上げられる

Maryland Secures \$32 Million Grant for Low-Carbon Construction Materials

メリーランド州の交通局高速道路管理局は米国運輸省を通し、3,200万ドルの助成金が与えられた。この財源により同局は高速道路建設プロジェクトへの低炭素資材利用に資金を提供でき、これはカーボンフットプリントの低下をもたらす。この助成金により同局の低炭素資材利用が促進され、輸送における温室効果ガス排出の全体量削減が支援される。当局はすでにいくつかのプロジェクトに再生アスファルト舗装やコンクリート混合物を使用しており、舗装の失われた成分を再生することによる古いアスファルトの再利用といった他の方法も研究している。

英国 2024年12月30日 World Highways

■ コストを越えて：道路炭素削減のためソリューション主導型提携を結ぶ

Beyond cost : forging a solutions-led partnership for highways carbon-saving

ハイトン・アスファルト社とターマック社の長年の提携により、英国の道路関連顧客に新たなソリューションがもたらされている。取引関係での大きな成果は、ターマックにより開発された低炭素持続可能資材を展開し、ウォームミックスアスファルトやリサイクルタイヤのゴムを使用した舗装製品等あらゆるものを包括するハイトン・アスファルトの能力である。工場・製品特有のカーボンフットプリントに対するデータ主導型アプローチにより、自治体や資産保有者がいかに財源の配分がされるかについて情報を得て判断を下せるようになり、プロジェクトで持続可能性の恩恵を最大化できるようになる。

スペイン 2024年12月31日 Ministerio

■ スペイン運輸局、2025年に向けて高速道路料金を徴収する法案を了承

Transportes aprueba la actualización de los peajes de las autopistas para 2025

契約受注した高速道路の料金は改定され、3.84%から5.45%の間に引き上げ率が抑えられることになった。これは入札の契約ごとの特殊条件を考慮した数字であった。2022年末には、翌2023年の通行料金の引き上げを4%に抑えるための補助金が制定された。補助金がなければ、その年の引き上げ率は8.4%から9.5%になることが予定されていた。2025年はやはり補助金が少なかったため、通行料金の引き上げは5.98%から7.72%の間に設定されることになる。2023年から2024年までの間に、道路利用者は補助金により総額6,000万ユーロを節約できたことになる。

イタリア 2024年12月31日 Il Fatto Quotidiano.it

■ 新年が始まる真夜中の定刻に、高速道路の通行料金が一齐に引き上げられる

Alla mezzanotte, puntualissimi, scattano anche i rincari dei pedaggi autostradali

新年に入るとすぐに実施される今回の通行料金の引き上げは、以前よりは大幅な値上げではないが、アウトストラーデ・イタリアの2,800kmの中で、1.8%の引き上げとなる。全体の1.67%を占めるナポリ・ボンペイ・サレルノ間で道路の修復が行われるが、残りの22の高速道路請負会社については、道路状態の調整が実施されない見通しである。今回の通行料金の引き上げも計画されたインフレ上昇率に合わせて実施される。